

地方創生関連施策を活用した事業の実施状況の報告及び検証について

- 地方版総合戦略の取組を国が支援するために創設した地方創生交付金(令和7年度は新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金))については、本市も積極的に活用することとし、令和7年度は以下の事業を実施しました。
- これらの取組は、事業終了後の検証・評価を行うことが必須とされ、検証・評価に当たっては、**外部有識者の意見を聴取すること**とされています。
- そのため、各事業の令和7年度の実績を皆様に御報告の上、御意見を伺い、評価・検証の上、今後の事業の

(単位:千円)

申請/採択年度	国提出事業名	所管部局	市予算事業名	R7年度申請額 交付金対象部分			R7年度実績額 交付金対象部分		
				事業費 (対象部分)	国費	一般財源他	事業費 (対象部分)	国費	一般財源他
令和7年度 新規事業	北のまちで若者と女性が輝くサステナブル創造都市プロジェクト (R7-9)	経済部 こども・女性・若者未来部	若者地元定着促進費	4,252	2,126	2,126	3,850	1,925	1,925
			はたらく環境づくり支援費	531	265	266	490	245	245
			技能のまちづくり推進費	300	150	150	300	150	150
			旭川工芸技術等継承事業費	1,000	500	500	576	288	288
			女性活躍・ワークライフバランス推進費	490	244	246	400	200	200
			キャリアの保健室事業費	4,750	2,375	2,375	4,750	2,375	2,375
			小計	11,323	5,660	5,663	10,366	5,183	5,183
	クリエイティブ人材を活用した持続可能な地域モデルの構築 (R7-9)	経済部	デザイン推進事業費	25,414	12,707	12,707	25,412	12,706	12,706
			創造拠点運営事業費	7,400	3,700	3,700	7,400	3,700	3,700
	小計	32,814	16,407	16,407	32,812	16,406	16,406		
	持続可能な地域公共交通体系の構築プロジェクト (R7-R9)	都市振興部	航空路線確保対策費	14,700	7,350	7,350	11,800	5,900	5,900
			地域公共交通対策費	3,161	1,580	1,581	2,904	1,452	1,452
			JR路線維持対策費	409	205	204	380	190	190
	小計	18,270	9,135	9,135	15,084	7,542	7,542		
	あさひかわ独自の文化、芸術を活かしたまちづくりプロジェクト (R7-9)	社会教育部	文化芸術活動振興費	17,113	8,556	8,557	15,264	7,632	7,632
			井上靖記念館管理費	19,262	9,631	9,631	19,628	9,814	9,814
			中原悌二郎賞関係費	6,018	3,009	3,009	5,304	2,652	2,652
			野外彫刻管理費	353	176	177	250	125	125
			優良良織普及促進事業補助金	3,027	1,514	1,513	3,028	1,514	1,514
			彫刻美術館事業活動費	5,045	2,523	2,522	4,872	2,436	2,436
			旭川彫刻フェスタ開催負担金	300	150	150	300	150	150
			小計	51,118	25,559	25,559	48,646	24,323	24,323
	令和7年度事業合計			113,525	56,761	56,764	106,908	53,454	53,454
令和6年度 継続事業	「食の実験区、旭川」未来の食文化を創造する街プロジェクト (R6-8)	経済部	デザイン推進事業費	6,500	3,250	3,250	6,272	3,136	3,136
			戦略的国内外市場開拓推進費	8,530	4,265	4,265	8,530	4,265	4,265
			北の恵み食べマルシェ開催負担金	8,000	4,000	4,000	8,000	4,000	4,000
			大阪関西万博共創パートナー事業費	6,000	3,000	3,000	6,000	3,000	3,000
			令和6年度事業合計	29,030	14,515	14,515	28,802	14,401	14,401
令和3年度 継続事業	新時代に飛躍する新・大雪圏域観光振興プロジェクト～都市と自然、仕事と遊びを繋ぐシームレスな観光地づくりの推進～ (R3-R7)	観光スポーツ・シティプロモーション部	旭川観光コンベンション協会補助金	2,000	1,000	1,000	2,000	1,000	1,000
			大雪カムイミントラDMO推進費	30,504	15,252	15,252	30,504	15,252	15,252
			観光プロモーション推進費	4,000	2,000	2,000	4,000	2,000	2,000
			観光情報発信費	3,000	1,500	1,500	3,000	1,500	1,500
			令和3年度継続事業合計	39,504	19,752	19,752	39,504	19,752	19,752
総合計			182,059	91,028	91,031	175,214	87,607	87,607	

※端数の関係で若干のずれ有

地方創生関連交付金事業に係る事業実施結果報告(案)

No	①国提出事業名		②実施計画期間 (R7年度の実施年数)			
1	北のまちで若者と女性が輝くサスティナブル創造都市プロジェクト		R7年度～R9年度 (1年度目)			
③全体概要						
若者・女性の流出などに対応し、地域産業を支える人材の確保・育成を図るため、これまで培ってきた各関係機関との連携を更に深め、全市的かつ総合的な取組を強化することにより、地元定着と域外からの流入増の両面で、地域における人材確保力を高め、若者、女性、外国人などから選ばれ、多様な人材が活き活きと活躍する「サスティナブル創造都市」を実現する。						
④市予算事業(令和7年度)						
事業名	概要	主な事業実績	予算額		実績報告	
			予算額	(うち交付金見込)	実績額	(うち交付金見込)
若者地元定着促進費	若年層の流出を抑制し担い手を確保するため、旭川市企業情報提供サイトの利用促進のほか、就職支援機関との連携による各種イベントを実施する。	・旭川市企業情報提供サイトの運営・改修 R7年度 登録企業225社、求職者380名 ・高校2年生のしごと探求フェア 実施日 R8.3.11 参加者 企業36社 高校生17高校383名参加	4,252	(2,126)	3,850	(1,925)
はたらく環境づくり支援費	地域企業の働きやすい環境整備のため、働き方改革セミナーによる啓発や人材育成の支援を行う。	・外国人材活用相談窓口 開設期間 R7.10.1～R8.3.31 相談件数 11件	531	(265)	490	(245)
技能のまちづくり推進費	技能・技術の大切さや素晴らしさを体感してもらい、ものづくり産業への興味と将来の仕事について理解を深めてもらうため、小・中学生等を対象にものづくり体験イベントを開催	令和7年6月22日(日)10時から15時まで旭川駅構内及び駅北口前広場において「まちなかものづくり2025」を開催 ・参加団体数:7団体 ・参加人数:延べ330人	300	(150)	300	(150)
旭川工芸技術等継承事業費	木工関連産業及び工芸品製造業の次代を担う人材の育成のため、道内外・旭川地域の熟練技術者や有識者と連携し、製造技術の継承とデザインから要素技術まで幅広く視野に入れた研修を行う。	熟練技術者や工芸センター職員等が講師となり、機械操作や製造技術等の習得のための講習会を開催した。 ・木製品実習(機械操作、旋盤、塗装) ・窯業実習(調合) ・座学(接着、木彫、調合、物流) 全8コース 139名参加	1,000	(500)	576	(288)
女性活躍・ワークライフバランス推進費	各企業単独では実施が難しい女性の参画と男性の家庭参画を推進するため、市内企業への取組の呼びかけ、研修等の啓発事業や交流事業を実施する。	(1)表彰者 5者 (2)認定事業者 プラチナ認定 2者、ゴールド認定 2者、シルバー認定 4者 (3)セミナー開催 13人参加 (4)多様な働き方推進事業者合同企業説明会 出展社6者、延べ参加者数67人 (5)旭川市企業情報提供サイト「はたらくあさひかわ」掲載 表彰者紹介 5者、認定者 8者	490	(244)	400	(200)
キャリアの保健室事業費	働く上での課題に対し、中小企業診断士等の専門家がアドバイスをを行うとともに、セミナーの開催、相談で得られた就労者ニーズや地域課題を地域事業者にフィードバックすることで、地域全体の職場環境向上を目指す。	(1) みんなのキャリアの保健室登録事業者数 27社 (2) 相談実績 51件 (3) 関連セミナー 2回開催、参加者数53人	4,750	(2,375)	4,750	(2,375)
合 計 (うち交付金対象)			11,323 (5,660)		10,366 (5,183)	

⑤本事業における重要業績評価指標 (KPI)						⑥本事業終了後における実績値	
指標名 (旭川市関係分)		基準値	目標値	単位	目標年月	最新値	事業効果
指標①	旭川市労働基本調査での市内企業におけるUIJターンによる労働者の採用割合	5.53	7.34	%	R9.3月	9.1	地方創生に効果があった 本事業により、若年層の流出を抑制し担い手を確保するため、令和7年度「旭川市企業情報提供サイト」を改修し、サイトの利用を促進。登録企業225社、求職者380名と増加し、指標①に関しても1年経過時点で目標値を達成した。人手不足をUIJターンによる採用で補っていることが考えられ、今後も数値を伸ばせるようサイトを充実させていく。 指標②に関しての事業としては、就職支援機関との連携によるイベントとして「高校2年生のしごと探求フェア」を実施。企業36社、高校生17高校383名が参加し、地元産業についての理解を深め、職業選択の幅を広げるとともに、職業意識の醸成・向上及び地元企業に対する認識の向上と地元定着促進を図った。 また、地域企業の働きやすい環境整備のため、働き方改革セミナーによる啓発や人材育成の支援を実施。外国人雇用に関しては、令和7年度「外国人材活用相談窓口」を開設し、地域企業の外国人材活用に関する相談に対応し、指標④における1年経過時点での目標値11.33を達成した。 指標③について、課題としては、多くの企業が人材確保・人材定着に苦慮しているということ、働き手として期待される若年層の人口流出となっている。 指標⑤の企業情報提供サイトのセッション数は、1年経過時点の目標値67,464を下回ってはいるが、令和8年4月1日から無事リニューアルオープンを実施できたため、令和8年度に伸びることを予想している。 以上の結果から、本事業を行うことで若年層の流出を抑制し担い手を確保するなど市内企業における人材確保等について、順調に基盤が強化されている。
指標②	進路状況調査での学生就職決定者 (高等学校、短大・高専、大学、専門学校) の旭川での就職率	43.20	47.19	%	R9.3月	41.3 (R8.4月)	
指標③	働く女性の相談窓口事業の登録事業者数	0.0	35.0	社	R9.3月	27	
指標④	旭川市労働基本調査での市内企業における外国人労働者の雇用割合	10.30	13.70	%	R9.3月	12.9	
指標⑤	企業情報提供サイトのセッション数	61,464	97,464	回	R9.3月	62,378 (R7)	
⑦外部有識者からの評価 (案)							
事業の評価			外部有識者からの意見 (案)				
総合戦略のKPI達成に有効であった			全体的に、目標値に対し順調に推移していると言える。人口減少の主な要因である若年層の流出を抑制し、担い手を確保することは、社会減少を抑制することを図る上で重要であることから、今後も継続的に取り組む必要がある。				
⑧実績値を踏まえた事業の今後について							
今後の方針			今後の方針の理由				
事業の継続 (計画通りに事業を継続する (または、概ね同内容で継続する))			本事業により、若年層の流出を抑制し担い手を確保するため、「旭川市企業情報提供サイト」を運営。 就職支援機関との連携によるイベントを実施し、地元産業についての理解を深め、職業選択の幅を広げるとともに、職業意識の醸成・向上及び地元企業に対する認識の向上と地元定着促進を図る。 地域企業の働きやすい環境整備のため、働き方改革セミナーによる啓発や人材育成の支援も実施していく。				

地方創生関連交付金事業に係る事業実施結果報告(案)

No	①国提出事業名					②実施計画期間 (R7年度の実施年数)		
2	クリエイティブ人材を活用した持続可能な地域モデルの構築					R7年度～R9年度 (1年度目)		
③全体概要								
旭川市が有する木工技術や農産物、観光資源などの地域特有の強みを最大限活用し、クリエイティブ人材とデザインの力で地域課題を解決し、持続可能な地域モデルの構築を目指し、創造拠点を整備し、リサーチやワークショップ、成果展示を通じた課題解決型プロジェクトを推進する。また、「デザインジェネレーター」を活用し、地域事業者が簡単にブランドロゴやパッケージデザインを生成できる仕組みを整備し、ユネスコ創造都市ネットワークを活用し、他都市との連携プロジェクトを通じて新たな価値を創出する。								
④市予算事業(令和7年度)								
事業名	概要	主な事業実績	予算額		実績報告			
			予算額	(うち交付金見込)	実績額	(うち交付金見込)		
デザイン推進事業費	デザインの視点を活用した各種取組を実施した。また、地域資源のブランディングや商品開発支援、研修・ワークショップ等を通じてデザイン経営の普及を図った。	・デザインジェネレーターの開発・運用 ・お土産におけるデザインシステム活用のプロトタイピング ・チーフデザインプロデューサーによるブランディング監修及び助言	25,414	(12,707)	25,412	(12,706)		
創造拠点運営事業費	地域おこし協力隊等を中心に、地域資源を活用したプロジェクトの企画・実践を行うとともに、ワークショップや展示、交流機会の提供を通じて地域住民、事業者、クリエイターの共創を促進した。	・デザインギャラリー利用 イベント利用(75回 参加7,925人) ミーティング(68回 参加152人)	7,400	(3,700)	7,400	(3,700)		
合 計 (うち交付金対象)			32,814 (16,407)		32,812 (16,406)			
⑤本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑥本事業終了後における実績値			
指標名(旭川市関係分)		基準値	目標値	単位	目標年月	最新値	事業効果	
指標①	若年層(15～34 歳)に係る社会減(転入者数転出者数)の減少	516	149	人	R9.3月	657 (R8.1月)	地方創生に効果があった 本事業では、チーフデザインプロデューサーの関与のもと、地域資源の価値向上に向けたデザインシステムの検討・実装や、事業者・行政・クリエイター間の継続的な対話を通じた共創の基盤形成が進んだ。そのため、指標①の若年層の社会減の減少には繋がらなかったものの、指標②から⑥については、目標を達成あるいは目標値に対して順調に推移している。 実際には、指標③では創造拠点の運営や地域おこし協力隊の活動により、イベント開催やワークショップ、情報発信を通じて延べ約7,900人が来場するなど、市民・事業者の参画機会が拡大した。 さらに、指標④では、探究学習やクリエイティブ活動を通じて若年層の関与も生まれ、地域における人材育成と関係人口の創出につながった。これらの取組により、地域資源を活かした価値創出と持続的な地域モデル形成に向けた基盤が強化されている。	
指標②	地域資源を活用した商品やサービスの開発数	0	26	件	R9.3月	21件 (R8.3月)		
指標③	創造拠点(デザインギャラリー)来場者数	0	7,500	人	R9.3月	7,925人 (R8.3月)		
指標④	地域課題解決型プロジェクトの実施数	0	20	件	R9.3月	12件 (R8.3月)		
指標⑤	クリエイター参加イベント数	0	47	回	R9.3月	52回 (R8.3月)		
指標⑥	共同プロジェクトの件数	0	5	件	R9.3月	3件 (R8.3月)		
⑦外部有識者からの評価(案)								
事業の評価		外部有識者からの意見(案)						
総合戦略のKPI達成に有効であった		KPIについて、順調に推移していると言える。本市の特徴あるまちづくりとして、デザインを核とした産業振興を図るとともに、普及啓発によりデザイン思考が市民生活に取り入れられることで、デザイン都市旭川としてのシビックプライドの醸成やイメージアップにもつながることから、引き続き取り組む必要がある。						
⑧実績値を踏まえた事業の今後について								
今後の方針		今後の方針の理由						
事業の継続 (計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する))		本事業により、チーフデザインプロデューサーの関与のもと、地域資源の価値向上に向けたデザイン活用の方向性整理や、共創の基盤形成が進んだ。一方で、これらの取組はまだ初動段階にあり、商品化や事業化、持続的な運営体制の確立には至っていない。今後は、チーフデザインプロデューサーの知見を活かし、地域資源を活用した具体的な商品開発やブランディング支援を強化するとともに、創造拠点における実証・発信機能を高め、事業者の継続的な参画を促進していく。また、地域おこし協力隊の活動と連動し、若年層の人材育成やクリエイターの関係人口化を図るとともに、利用促進や自主事業の展開による収益化を進め、持続可能な運営モデルの構築に向けて事業を継続する必要がある。						

地方創生関連交付金事業に係る事業実施結果報告(案)

No	①国提出事業名		②実施計画期間 (R7年度の実施年数)			
3	持続可能な地域公共交通体系の構築プロジェクト		R7年度～R9年度 (1年度目)			
③全体概要						
公共交通は、地域における日常生活に不可欠なサービスであり、将来的な人口減少下においても維持していく必要がある。そのため、市内の公共交通の効率化のほか、利便向上や利用促進に取り組むとともに、旭川空港に国内外の航空路線を誘致することにより、インバウンドの呼び込みを図り、更なる利用増につなげることで、人口減少下においても、持続可能な公共交通ネットワークを構築する。						
④市予算事業(令和7年度)						
事業名	概要	主な事業実績	予算額		実績報告	
			予算額	(うち交付金見込)	実績額	(うち交付金見込)
航空路線確保対策費	旭川空港の路線維持及び利用促進に向けた取組	(1)既存路線の維持及び新規路線確保 国内外の航空会社、旅行会社への働きかけ、関係自治体との就航に向けた課題協議、路線需要に関する調査研究等を行った。 (2)利用促進 航空会社や関係自治体と連携した路線の需要拡大に係る広告宣伝、イベント等を行った。	14,700	(7,350)	11,800	(5,900)
地域公共交通対策費	公共交通(バス)の安定運行に必要な乗務員確保に向けた取組	(1)旭川市地域公共交通会議の開催 R7年度に5回開催。地域の实情に即した輸送サービスの実現に必要な事項に関する協議等を行った。 (2)バスの日イベントの実施 「バスの日」イベントを通じて、バス利用促進を図ること目的として9月6日(土)に実施。 (3)サイクル&バスライド駐輪施設整備事業 利便性の高いバス停に隣接して自転車駐輪施設を設置(市内12か所)、バス利用の促進を図った。 (4)ダイヤ分析システム使用料 路線バスの利用実態を把握し、地域への説明に活用。バス路線再編に向けた検討材料としても使用。 (5)交通不便地域の解消に向けた検討 路線バスの減便により、移動の困難が発生した地域への交通手段の確保に向けた協議に参加(春光台)	3,161	(1,580)	2,904	(1,452)
JR路線維持対策費	公共交通(JR路線)の安定運行に必要なPRなどの利用促進に向けた取組	(1)子どもの鉄道利用の喚起 鉄道に乗り、謎を解きながら市内の駅をめぐる企画を実施。参加者は185名。 (2)公共交通の利用促進に向けた啓発 黄線区についての説明広告、利用促進事業のPR広告を地方紙(ライナー)に2回掲載。 (3)観光列車の歓迎・PR 観光列車のおもてなしの一環として、オリジナルグッズを作成。	409	(205)	380	(190)
合 計 (うち交付金対象)			18,270 (9,135)		15,084 (7,542)	

⑤本事業における重要業績評価指標 (KPI)						⑥本事業終了後における実績値	
指標名(旭川市関係分)		基準値	目標値	単位	目標年月	最新値	事業効果
指標①	観光入込客数	4,735,000	6,000,000	人	R9.3月	5,246,500	地方創生に効果があった 指標①については、特に外国人宿泊延数が過去最大になるなど観光利用者数は増加傾向にあり、目標に対して順調に推移している。また、そのことに伴い、指標③である、空港乗降客数は顕著な伸びを示しており、事業効果は高いといえる。 こうした中、地域公共交通はコロナ以前からの外部変化の影響を受けて、利用減・経営余力の低下、運賃収入・フリークエンシーの低下という負のスパイラルに陥っていたことで、指標②については、減少しているが、観光利用と連携した利用促進や運転手確保等の取組を行うことで、低下を最小限に食い止めている状況である。
指標②	市民一人当たりの路線バスの年間利用回数	25.5	37.5	回	R9.3月	24.8	
指標③	空港乗降客数	105	145	万人	R9.3月	121	
⑦外部有識者からの評価(案)							
事業の評価				外部有識者からの意見(案)			
総合戦略のKPI達成に有効であった				公共交通の維持・確保に向けた取組については、目標値に届いていないところはあるが、観光利用と連携した利用促進や運転手確保等の取組を行っているところであるため、引き続き継続する必要がある。			
⑧実績値を踏まえた事業の今後について							
今後の方針				今後の方針の理由			
事業の継続 (計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する))				引き続き、①公共交通(バス)の維持・確保や利用促進に向けた取組、②公共交通(バス)の安定運行に必要な乗務員確保に向けた取組、③公共交通(JR路線)の安定運行に必要なPRなどの利用促進に向けた取組、④旭川空港の路線維持及び利用促進に向けた取組を、同内容で継続する。			

地方創生関連交付金事業に係る事業実施結果報告(案)

No	①国提出事業名	②実施計画期間 (R7年度の実施年数)				
4	あさひかわ独自の文化、芸術を活かしたまちづくりプロジェクト		R7年度～R9年度 (1年度目)			
③全体概要						
旭川市が醸成してきた貴重な文化遺産や文化資源についての魅力をさらに磨き上げ、様々なジャンルや様々な世代による文化芸術の交流を通してコラボレーション企画の取組を行うことで新たな文化体験を創出し、国内外から様々な背景を持つ人々が参加し、共生することのできるまちづくりの実現を図り、観光客が増加するだけではなく、全国や海外から多くの創造力あふれる人材が集まる市民が誇れる文化芸術都市・旭川を目指す。						
④市予算事業(令和7年度)						
事業名	概要	主な事業実績	予算額		実績報告	
			予算額	(うち交付金見込)	実績額	(うち交付金見込)
文化芸術活動振興費	各種文化芸術活動の振興及び活性化を図るため、練習・発表・展示の場を提供するとともに、多くの市民が質の高い文化芸術に触れる機会を設ける。	○旭川文学資料館の運営 来館者数 1,226人 ○市民ギャラリーの運営 ・利用件数 33件 ・利用率 82.2% ・来場者数 8,475人 ○文化芸術団体への補助の実施 ・補助件数 17件(うち新規団体5件)	17,113	(8,556)	15,264	(7,632)
井上靖記念館管理費	本市ゆかりの井上靖文学を通して、文化芸術の振興を図るため、井上靖文学の各種企画展示及び自主事業活動を行う。	○井上靖記念館を指定管理委託により運営する ・来館者数 4,252人	19,262	(9,631)	19,628	(9,814)
中原悌二郎賞関係費	彫刻界における最高栄誉の一つとして芸術関係者の注目を集める中原悌二郎賞に係る中原悌二郎賞選考委員会及び贈呈式の開催、記念図録の作成・配布による周知、受賞作品(代替作品)の購入・設置を行う。	・第44回中原悌二郎賞選考委員会:令和7年6月21日開催、第44回中原悌二郎賞受賞者:藤原千也(「太陽のふね」)[473人の計623作品の中から選考] ・第44回中原悌二郎賞贈呈式・講演会:令和7年11月23日開催:出席者61名	6,018	(3,009)	5,304	(2,652)
野外彫刻管理費	野外彫刻の適切な維持管理、活用・普及のため、野外彫刻清掃ボランティアの運営による野外彫刻の清掃活動や研修会の開催、野外彫刻マップの作成・配布等による周知を行う。	・清掃ボランティア:旭川彫刻サポート隊会員数114名 ・清掃作業延べ参加者数:311名 ・野外彫刻たんさくマップ:1,900部作成 ・研修会3回開催:参加人数50名 ・会報「かふかす」の発行	353	(176)	250	(125)
優佳良織普及促進事業補助金	優佳良織工芸の観光資源、地域産業としての発展のため、これまで市が育成を支援してきた織子のさらなるスキルアップと優佳良織体験の実施による同工芸の普及促進を図る。	○優佳良織工房が行う織り体験、織子の人材育成に要する経費に対する補助の実施 ・優佳良織体験参加者数 128人	3,027	(1,514)	3,028	(1,514)
彫刻美術館事業活動費	彫刻美術館及び彫刻美術館ステーションギャラリーにおける展示事業・教育普及事業の実施・SNSを活用した発信による彫刻の振興、旭川市内の小中学校に彫刻美術館収蔵作品を運搬し展示する彫刻巡回展及び巡回展示作品を活用した彫刻巡回展出前授業の実施、運営を行う。	・入館者数:彫刻美術館5,172人、ステーションギャラリー:8,758人 ・企画展開催数:本館(4回)、ステーションギャラリー(6回) ・彫刻巡回展示:市内小中学校等17校(4校×5期)合計児童生徒数4,164人、市有施設4か所 ・彫刻巡回展示出前授業:市内小中学校13校、授業等実施回数30回、参加児童生徒数806人	5,045	(2,523)	4,872	(2,436)
旭川彫刻フェスタ開催負担金	本市周辺に在住する美術関係者との協働により、旭川独自の文化・芸術の体験的事業を展開する旭川彫刻フェスタ事業を実施する。	・旭川彫刻フェスタ2025 ワークショップ 開催日:令和7年11月1日～2日(2日間) 参加者:17人 ・ワークショップ付帯事業「彫刻ねんど広場」 開催日:令和7年11月8日参加者:102人 ・展覧会「旭川彫刻フェスタの記録展」 会期:令和7年10月4日～11月9日(32日間) 観覧者:942人	300	(150)	300	(150)
合 計 (うち交付金対象)			51,118 (25,559)		48,646 (24,323)	

⑤本事業における重要業績評価指標 (KPI)						⑥本事業終了後における実績値	
指標名(旭川市関係分)		基準値	目標値	単位	目標年月	最新値	事業効果
指標①	観光入込客数	4,735,000	6,000,000	人	R9.3月	5,246,500	地方創生に効果があった 指標①については、観光入込客数は増加をしており、事業を通じて、地域資源を活かした新たな文化体験が国内外からの観光客の誘因につながっているといえる。 指標②では基準値から若干減少しているものの、引き続き井上靖記念館や文学資料館において本市が所蔵する文学資料の展示等を行うことにより市民や観光客の文学・文化に対する意識を醸成するための基盤は形成できている。 指標③については、優佳良織体験への参加者数も目標値の約89%までとなっており、令和7年度は優佳良織工房の織子体験や織子育成に対する補助を行い、旭川市の貴重な文化資源のさらなる醸成を図った。 以上から、今後開催予定の芸術マルシェへの気運醸成を図ることできている。
指標②	施設来場者数(文学資料館、井上靖記念館等)	18,752	24,957	人	R9.3月	18,245	
指標③	優佳良織体験への参加者数	0	144	人	R9.3月	128	
指標④	芸術マルシェ来場者数	0	12,000	人	R9.3月	0	
⑦外部有識者からの評価(案)							
事業の評価			外部有識者からの意見(案)				
総合戦略のKPI達成に有効であった			目標値には届かなかったものの、優佳良織体験や織子の育成に対する補助を行い、旭川市の貴重な文化資源の更なる醸成につなげる必要があることから、今後も継続的に取り組む必要がある。				
⑧実績値を踏まえた事業の今後について							
今後の方針			今後の方針の理由				
事業の継続 (計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する))			今後は、ミニ芸術マルシェについて①各種文化芸術団体の実態とニーズに即したイベント内容を検討するための基礎データの収集や、団体との関係構築を目的としたヒアリング調査の実施、②市内の既存イベントに付随し、屋外スペースにおいて市民が新たな文化芸術活動を体験できるミニ芸術マルシェの試行実施、③芸術マルシェの実施に向け、地元金融機関や企業等、文化芸術団体以外の参画を募りながら実施体制づくりを行うとともに、文学資料館や井上靖記念館の運営、優佳良織体験等への支援を引き続き行うことにより、市民がより積極的に文化芸術活動に参画することができるようになることから、事業を継続する。				

地方創生関連交付金事業に係る事業実施結果報告(案)

No	①国提出事業名		②実施計画期間 (R7年度の実施年数)				
5	「食の実験区、旭川」未来の食文化を創造する街プロジェクト(R6-8)		R6年度～R8年度 (2年度目)				
③全体概要							
本市は、豊かな自然がある北海道の中心にあり、道北主要自動車道の交差点であり、貨物輸送を担う「旭川空港」や水産・青果・畜産のフルカテゴリーの卸売市場を有することから、当市には、北海道中の新鮮な農畜産物・海産物が集積される。 単に最先端技術を駆使した加工食品を作るだけではなく、昔からある土着の食を軸に、素材の価値を引き出す＝食のデザインができる街として「Made in Asahikawa」から「Designed in Asahikawa」にシフトし、旭川産全体の価値向上(付加価値の向上、新たな体験、世界に発信)により、食のクリエイター(コーディネーター)が世界中から集まり、未来の食文化を創造する都市を目指す。							
④市予算事業(令和7年度)							
事業名	概要	主な事業実績	予算額		実績報告		
			予算額	(うち交付金見込)	実績額	(うち交付金見込)	
デザイン推進事業費	多様な食材や豊富な農畜産・加工品などの「食」を切り口に、旭川ならではの魅力を発掘・発信し、ブランディングや事業化、人材育成を通じてまちの活性化と魅力創出を図ることを目指した食の魅力強化事業を実施するとともに、朝の交流拠点及び地域の食の魅力発信を目的とした「あさいち」を実施した。	○地場製品と地域内外の小売業者・飲食業者とのマッチングイベント ○商品開発、ブランディング、市場選定に関するセミナー ○あさいち ・R7年7月26日、9月21日、R8年2月1日 ・出店者数…54店舗 ・来場者数…6,675人	6,500	(3,250)	6,272	(3,136)	
戦略的国内外市場開拓推進費	地場産品の国内外における新たな市場開拓を推進するため、国内外の多様な市場との商談・販売機会を提供する事業を実施する。	・道外の量販店・セレクトショップ等とのネットワークを構築し、テスト販売の機会を提供 実施件数:12件 ・国内外の多様な市場との商談機会を創出 商談事業実施数:28件	8,530	(4,265)	8,530	(4,265)	
北の恵み食べマルシェ開催負担金	北北海道地域の農畜海産物、加工食品などの販路拡大を図り、多彩で豊かな食の供給基地である北北海道の魅力を広く発信するため、「北の恵み 食べマルシェ」を開催する。	・「北の恵み あさひかわ食べマルシェ2025」開催 ・出店者数:162者(162店) ・延べ来場者数:731千人 ・売上総額:138百万円	8,000	(4,000)	8,000	(4,000)	
大阪関西万博共創パートナー事業費	2025大阪・関西万博において、旭川発の「デザインの力」で地域課題に取り組むプロジェクトを実施した。	○2025大阪・関西万博 地方創生SDGsフェスへの出展 ・R7年5月28日～6月1日 ・ブース来場者…2,687人 ○あさひかわデザインウィーク関連イベント「WOODS&DESIGN」フィールドワーク及びトークセッションの実施 ・フィールドワーク参加者…24人 ・トークセッション参加者…約80人	6,000	(3,000)	6,000	(3,000)	
合 計 (うち交付金対象)			29,030 (14,515)		28,802 (14,401)		
⑤本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑥本事業終了後における実績値		
指標名(旭川市関係分)		基準値	目標値	単位	目標年月	最新値	事業効果
指標①	地域における青果物販売額	1,611	1,660	百万円	R8.3月	1,591 (R7年度)	地方創生に効果があった 指標①、③については、目標を下回ったもの地域食材や食品事業者の発掘・整理、商品開発やブランディング支援、首都圏・海外市場との接点づくり等を通じて、旭川の食の価値向上と販路拡大の基盤を構築したことにより、指標②では目標を達成する売上高となった。 また、指標④では事業に参画する事業者数は目標を達成しており、試食交流会やマッチング機会の創出により、事業者間の連携や新たな商品開発の芽が生まれた。加えて、「あさいち」の開催により、市民や来訪者が地域の食を体験する場を創出し、延べ6,000人超の来場を通じて食の魅力発信と消費喚起を図った。これらの取組により、食を起点とした共創の動きが生まれ、「Designed in Asahikawa」の実現に向けた基盤形成が進んでいる。
指標②	事業により生まれた商品・メニュー・サービスの売上	0	115,000	千円	R8.3月	117,200 (R7年度)	
指標③	旭川で観光客の滞在中の旅行消費額	54.7	75.7	千円／人	R8.3月	73 (R7年度)	
指標④	事業に参画する事業者数	0	95	人	R8.3月	110 (R7年度)	

⑦外部有識者からの評価(案)	
事業の評価	外部有識者からの意見(案)
総合戦略のKPI達成に有効であった	人口減少が想定される中で、旭川市の食関連産品の価値向上は、地域経済の活性化を図る上で重要であることから、今後も継続的に取り組む必要がある。
⑧実績値を踏まえた事業の今後について	
今後の方針	今後の方針の理由
事業の継続 (計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する))	本事業により、地域食材の発掘や事業者間の連携、商品開発の機運醸成、市民参加型の実証の場の創出など、一定の成果が得られた。一方で、地域資源の高付加価値化や販路拡大、若者が魅力を感じる産業の創出といった構造的課題の解決には至っておらず、継続的な取組が必要である。特に、「あさいち」については、市民や来訪者が地域の食を体験する場として一定の手応えが得られたことから、今年度は開催回数を拡大し、より多様な事業者の参画や継続的な消費機会の創出につなげていく必要がある。これまでに構築したネットワークやノウハウを活かし、商品開発や市場開拓と連動させることで、「Designed in Asahikawa」の実現に向けた取組をさらに加速させる。 また、テスト販売や商談機会を創出させることは、事業の実践の場として必要であり、今後も概ね同内容で継続する

地方創生関連交付金事業に係る事業実施結果報告(案)

No	①国提出事業名		②実施計画期間 (R7年度の実施年数)				
6	新時代に飛躍する新・大雪圏域観光振興プロジェクト ～都市と自然、仕事と遊びを繋ぐシームレスな観光地づくりの推進～		R3年度～R7年度 (5年度目)				
③全体概要							
本圏域が持つ都市機能と自然の調和、明瞭な四季といった様々なコンテンツを生かし、Withコロナ、Afterコロナを見据え、通年で各種スポーツや農村・自然・文化など屋外を中心に多様な体験をするアドベンチャートラベルの充実を図るとともに、家具産業や農業、食産業と連携した取組みにより家族や少人数の旅行など多様な観光需要への対応や商品の高付加価値化に取り組み、「稼ぐ」観光地域づくりを進めることで、本圏域に人を呼び込み、地方創生の実現を目指す。							
④市予算事業(令和7年度)							
事業名	概要	主な事業実績	予算額		実績報告		
			予算額	(うち交付金見込)	実績額	(うち交付金見込)	
旭川観光コンベンション協会補助金	観光関連団体との連携により、オール旭川体制の充実を図り、本市の観光振興に資するべく、一般社団法人旭川観光コンベンション協会へ補助金を交付する。	○学術会議や企業ミーティングを誘致するための開催支援補助の実施10件	2,000	(1,000)	2,000	(1,000)	
大雪カムイミントラDMO推進費	滞在型・通年型観光の促進に向けたマウンテンシティリゾートの形成を推進し、スキー場を核とした冬季観光促進事業、マーケティング調査及び各種モデル事業等を実施する(一社)大雪カムイミントラDMOを支援する。	○本事業を推進するための専門人材及びコーディネーターの配置 ○AT、着地型観光、ワーケーション等の商品造成及び販売体制の強化・充実 ○アクティビティセンターの運営・機能強化 ○圏域の観光案内を行うガイド育成講座の開催 ○観光商品の開発・販売を行うコーディネーターの研修派遣	30,504	(15,252)	30,504	(15,252)	
観光プロモーション推進費	経済発展とまちづくりに向けた本市の交流人口増大を図るため、他地域と連携しながら、観光客の誘致宣伝活動を推進する。	○インフルエンサーを活用した、国内・海外個人旅行者に対する情報発信 ○航空会社と連携した、季節就航便を活用した国内プロモーション	4,000	(2,000)	4,000	(2,000)	
観光情報発信費	観光入込客数及び観光客宿泊数の増加を図るため、本市の知名度の向上及びイメージアップを図るとともに、観光客誘致に係る地域観光資源等の情報発信を様々な媒体を利用して実施する。	○新たな着地型観光商品などを紹介するガイドマップ及びWeb版マップの作成	3,000	(1,500)	3,000	(1,500)	
合 計 (うち交付金対象)			39,504 (19,752)		39,504 (19,752)		
⑤本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑥本事業終了後における実績値		
指標名(旭川市関係分)		基準値	目標値	単位	目標年月	最新値	事業効果
指標①	DMO圏域観光宿泊延数	530	2,533	千泊	R8.3月	1,897 (見込値)	地方創生に効果があった 本事業では、大雪カムイミントラDMOを中心として、長期滞在に繋げるコンテンツ造成、誘客プロモーションの実施やMICE誘致の取組を実施してきた。結果的には、全ての指標では目標に届いていないものの、指標①、②は基準値を超えており、特に外国人の宿泊数は年々増加傾向であることから、取組の効果があったものと考えられる。
指標②	一人当たり旅行消費額	33	154	千円／人	R8.3月	73	
指標③	企業研修、ワーケーション、学術会議、教育旅行等の実施数	64	229	件	R8.3月	62	

⑦外部有識者からの評価(案)	
事業の評価	外部有識者からの意見(案)
総合戦略のKPI達成に有効であった	目標値には届いていないものの、基準値は超え、目標に対して順調に推移している。引き続き、これまでDMOをはじめとして実施してきた商品造成、販売体制の充実やガイド育成などの事業を検証・発展させるとともに、広く周知を図ることで、観光客の増加につなげる必要がある。
⑧実績値を踏まえた事業の今後について	
今後の方針	今後の方針の理由
事業の継続 (計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する))	訪日外国人客数の堅調な増加に伴い、観光入込客数もコロナ禍以前の水準に戻ってきている。 KPIの達成を目指すには、引き続き、欧米豪をはじめとしたアドベンチャートラベルを志向する国内外観光客やMICEの誘致、稼ぐ観光地域づくりに向けた高付加価値化商品にまつわる取組をより一層推進する必要があるため。